

○市町名 丸森町

○学校名 丸森町立大内小学校

○期 日 令和3年9月30日(木)

○会 場 丸森町大内小学校音楽室

○講 師

唄 小関 敬義 氏
尺八 笠間 文武 氏
三味線 梅津 登 氏
指導総括 富倉 守 氏
指導総括 菅野 憲一 氏

○対 象 丸森町立大内小学校3学年8名

○目 的

学校教育のカリキュラムの一環(ふるさと教育)と位置付ける。民謡の父といわれた「初代鈴木正夫」の生誕地として、その偉業を讃え、民謡の伝承活動を通じ、子供たちの郷土への誇りと愛着心を育て、民謡の保存継承と大内地区活性化の促進を図る。

○成果発表

学習発表会 : 令和3年10月23日(土)
閉校記念行事 : 令和4年2月26日(土)

○児童の声

・最初は歌えるか心配だったけど、歌えてよかったです。尺八、三味線の生演奏が聴けてうれしかったです。今度の木曜日にも上手に歌えるようにします。

・歌の高さや歌い方を教えてくれてありがとうございました。手のたたき方を教えてくれてありがとうございました。紙芝居を読んでくれてありがとうございました。声の大きさも教えてくれてありがとうございました。4人の先生にほめられたのがうれしかったです。

・先生方から、「上手に歌えたね」と言われてうれしかったです。分かったことは、「そうま〜こいしや〜」のところが工夫すると上手に歌えることです。こんなに上手に歌が歌えるなんて思っていませんでした。また次の木曜日にも上手に歌いたいです。

・楽器に合わせて歌えてうれしかったです。紙芝居も読んでくれて面白かったです。先生に教えてもらったから声の表現や流れが分かりました。学習発表会で新相馬節を成功させたいです。

・みんなで上手に歌えました。新相馬節を一人でも歌えるようになりたいです。楽器と一緒に歌えたのが良かったです。

・新相馬節の音程が分かりました。どういう楽器を使っているのか分かりました。長い時間、声を出せるのがすごかったです。最初より、歌がうまくなりました。新相馬節がどうやってできたか分かりました。実際の方がすごかったです。

・わたしは、9月30日に先生4人に新相馬節を習いました。最初に紙芝居を見て、鈴木正夫さんの一生がよく分かりました。思っていたよりも先生が厳しくてこの先はうまく歌えそうだなと思いました。生演奏を聴いて、CDと変わりないくらい上手でした。

・新相馬節の練習を初めて行い、前よりも歌がうまくなりました。4人の先生が来て、紙芝居を読んでくれてうれしかったし、楽しかったです。先生と練習したときよりもうまくなりました。



○講師から

今日の練習会の前に、教室で事前に練習をしていたので、かなり上手に歌えるようになっていたことが嬉しかったです。

自分たち講師も高齢化してきているので、どれだけ直接関わって生の演奏（三味線、尺八など）で指導できるか心配でした。しかし、一昨年、手本とカラオケの入ったCDを作成したことにより、学校内だけである程度練習できるという見通しを持つことができ安心しました。

新丸森小学校でも、「新相馬節」に関する活動を続けることができるという話を聞いて安心しました。今後も「新相馬節」を続けたいと思う気持ちが子供たちの中に育ってくればありがたいです。

○大内まちづくり協議会職員から

今年で10年目、その年その年でいろいろ特徴があったように思います。今年の子供たちは、先輩のCDを聞いてしっかり予習をしていたのだと思います。初日にして1番から3番までしっかりと歌い上げ、その学習能力に驚きました。また、上手に歌いたいという気持ちが伝わってくる素晴らしい歌声でした。

民謡は、「心のふるさと」といわれています。この「新相馬節」はふるさとを想い歌った哀愁歌です。地元が生んだ日本一の民謡歌手である鈴木正夫さんの名曲を、大内芸能祭り、敬老会、丸森芸能祭り等で、地元の子供たちが歌い継いでくれています。日本の伝統文化継承のためにも、頑張って歌い続けてほしいです。



○教職員の声

大内小学校では、3学年は「大内の自然と伝統を見つめよう」という学年テーマで総合的な学習の時間に取り組んでいます。活動目標は「さまざまな体験を通して、自分のまわりの人とふれあい、大内の自然や人々について考えることができる」としています。「新相馬節と大内地区のかかわりを調べ、分かったことを発表する」「地域の一員として地域の文化を継承しようとする意欲を高める」ことを目指して、取り組んでいます。1学期には、新相馬節についてパンフレットやインターネットを使って調べ、ポスターにまとめました。今回の民謡教室の後には、「尺八や三味線の生演奏を聴けてうれしかった。」「新相馬節を一人でも歌えるようになりたいです。」「声の表現や流れが分かった。」「長い時間声を出せるのがすごかった。」「実際の方がすごかった。」「前よりも歌がうまくなりました。」などの感想がありました。「今度の木曜日にも上手に歌えるようにします。」「ほめられたのがうれしかった。」「学習発表会で新相馬節を成功させたいです。」など次の活動への意欲の向上につながっています。

例年は「大内芸能まつり」「敬老会」「新相馬節全国大会」で地区の方に披露してきましたがコロナ禍で2年間できていません。学習発表会が唯一の発表の機会となってしまいました。

大内小学校は閉校しますが、新丸森小学校でも学習を続け、大内地区に子供による民謡の歌声が引き継がれることを願っています。

○教育事務所から

大内地区、相馬市に居住する講師陣により、3学年児童8名が「新相馬節」を練習しました。担任の先生と少しずつ予習をしていた児童は、見事に歌い上げ、講師陣を驚かせました。児童は、今後も練習を重ね、学習発表会や閉校記念行事で成果発表を行います。まっすぐな目と凛とした姿が印象的でした。

(文責：大河原教育事務所生涯学習担当)